

チャペル週報

被造物がすべて今日まで、共にうめき、
共に産みの苦しみを味わっていることを、
わたしたちは知っています。
(ローマの信徒への手紙 8:22)



2006 5 22 ~ 5.26 No.6
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

- 5月22日(月) 神 駒木 亮 (M1)
経 経済と人間 高林喜久生 (経済学部教授)
-
- 5月23日(火) 院 前島 宗甫 (関西学院常任理事)
神 石川 はるみ (M2)
文 田淵 結 (宗教主事)
社 キリスト教とわたし 藤井美和 (社会学部助教授)
法 巡回チャペル バロックアンサンブル
経 経済と人間 新海哲哉 (経済学部教授)
商 関西学院グリークラブによる音楽チャペル
-
- 5月24日(水) 神 アジアサンデー
社 キリスト教とわたし Ruth Grubel (宣教師)
法 栗林 輝夫 (宗教主事)
経 経済と人間 井口 泰 (経済学部教授)
商 辻 学 (宗教主事)
理 英語礼拝 Michael J. Lynn (理工学部助教授)
総 巡回チャペル 関西学院聖歌隊
-
- 5月25日(木) 神 キリスト教音楽にふれよう 1
文 音楽チャペル 関西学院グリークラブ
法 巡回チャペル バロックアンサンブル
経 経済と人間 寺本益英 (経済学部助教授)
商 English Chapel Richard Stinson (宣教師)
総 加藤 晃規 (総合政策学部教授)
-
- 5月26日(金) 神 橋口 望 (M2)
文 English Chapel Richard Stinson (宣教師)
社 音楽チャペル: バロックアンサンブル
経 舟木 譲 (宗教主事)
商 関西学院聖歌隊による巡回音楽チャペル
理 「負けないで!」松木真一 (宗教主事)
-

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
5月26日(金) 理工学部のために 尾崎 幸洋
総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40~ 於 宗教主事室

自分の目の中の大鋸屑（おがくず）

David Wider

デンマークでのモハメットの諷刺画への抗議を背景に、今年3月作家サルマン・ルシュディエが、有識者及びジャーナリストと共に『反イスラム教マニフェスト』を出しました。このマニフェストはイスラム主義を全体主義の新しい形と呼び、ファシズム、ナチズム、そしてスターリン主義の側へ位置づけ、イスラム主義によって大衆が判断力を奪われていることやイスラム主義への恐怖心に対する妥協の無い抵抗を求めています。

イスラム主義が反動的且つ破壊的イデオロギーであることは疑いなく、これを容認するわけにはいきません。しかしながら、このような民主主義者の神聖主義者に対する戦いを呼びかける行いは、私にある種矛盾した思いを残しました。

イスラム主義のテロを単に全体主義の思想史からのみ説明すると、その社会的文化的原因を見逃がしてしまいます。しかし又、テロがグローバリズムの随伴現象でもあるのなら、国際社会の文化的無配慮と、経済の絶対優位をもっと批判的に認識しなければなりません。これと同じ事を例えばロンドン大学経済学部のジョン・グレイ氏が要求しています。彼はかつてマーガレット・サッチャー首相の主任ブレインであり、今日ネオリベラリズムの強力な敵対者です。グレイ氏は、グローバル化のプロセスにおける文化的搾取に着目しています。国際社会の網から落ちこぼれる者にとって、排斥される惨めさが迫ってきます。このような悲惨の体験が、周知のように全体主義思考と容易に結びつけられるのです。

平和を実現するために、自由や多元論や市場経済の公式以上のものが必要です。つまり、自分自身と自分自身の前提を批判的に認識する真摯な努力がいります。まずそれこそがイエスの意味における考え方となるでしょう。この例に即して言うと「他人の目にある梁は見えるが、自分の目の中の大鋸屑は見えない」となります。（参照 マタイによる福音書7章3節）

（神学部助教授・宣教師）

吉岡記念館 連続写真展

吉岡記念館 1階ラウンジで『この時代を生きる』をテーマに4人の写真家の作品展を行います。普段、新聞・テレビが伝えないビルマ、グアテマラ、フィリピン、チベットの人々を困難に置かれた側から生き生きと伝えています。皆様に、今、生きている世界を見る目を持っていただきたいと願っています。

6月5日(月)午後～9日(金) 宇田有三氏 ビルマ

「ビルマ軍事政権下に生きる人びと 1993-2005」

6月19日(月)午後～23日(金) 古谷桂信氏 グアテマラ

「湖水とともに生きる グアテマラ サンティアゴ・アティトラン」

6月26日(月)午後～30日(金) 中井信介氏 フィリピン

「フィリピンの人々」

7月3日(月)午後～7日(金) 兵頭千夏氏 チベット

「チベット・カイラス巡礼」

講演会も計画しております。日時と場所が決まりましたらお知らせいたします。

神戸三田キャンパスチャペルオルガニスト募集中

理工学部と総合政策学部の学生チャペル・オルガニストを募集しています。

リーフレット、募集要項、応募用紙は神戸三田キャンパス事務室（号館キャンパス担当）にあります。詳細は、吉岡記念館事務室宗教センターでお尋ねください。（0798-54-6018）

また、募集要項、応募用紙は関西学院宗教センターからダウンロードできます。

http://www.kwansei.ac.jp/christian_center/

ランバスチャペルヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂では、学生音楽団体による恒例のチャペルヌーンコンサートが開かれています。お昼休みのひととき、どうぞ足を運んでみてください。

5月22日(月) 関西学院大学交響楽団(管楽アンサンブル)

5月25日(木) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部

6月12日(月) 関西学院大学ゴスペルクワイア "Power Of Voice"

6月13日(火) 関西学院バロックアンサンブル

6月15日(木) 関西学院聖歌隊

いずれも12時50分から13時20分までランバス記念礼拝堂にて

CD、DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までどうぞお越しください。

使用済み切手収集にご協力ください

本学では、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。記念切手、外国切手だけでなく、通常切手も対象としています。吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。